

	テーマ名	事業内容	事業期間	委託予算額
募戦15	人と協働する機械のactual use case に基づく手部軽度傷害に関する安全試験方法の国際標準化	これまで、日欧の既存技術をベースに、人の上下肢と機械の接触を想定した試験装置が開発されてきたが、協働型機械の普及にともない、actual use caseでは手部傷害が重要であることがわかってきた。そこで、手部傷害を想定した安全試験のための新たな試験装置の仕様及び現実の接触状況を再現した試験方法の国際標準化を行う。また、試験で測定したデータの処理方法についても国際標準化を行う。国内における当分野は成長途上で個々の民間事業の規模は大きくないため、民間単独では必要な対応が極めて困難である。このため、国の事業として実施する必要がある。	3年	33,540千円(上限)／初年度
募戦調4	ブロックチェーンによる位置情報・時刻情報の認証に求められる要求事項に関する標準化調査	データの利活用推進のため、原本性の保証や真正性の保証に寄与するブロックチェーン技術を利用した位置情報・時刻情報の認証に求められる要求事項に関する調査を行う。	1年	9,075千円(上限)／初年度